

壱岐市

議会だより

第25号



◇主な内容(平成22年3月定例会)

- | | |
|----------------|------|
| • こんなことを決めました | 2P～ |
| • 平成22年度壱岐市の予算 | 3P |
| • どえーな予算があると? | 4P～ |
| • 委員会できびしくチェック | 6P |
| • 一般質問(11人が登壇) | 8P～ |
| • 「市民の声」、クイズ | 14P～ |
| • 編集後記 | 16P |



「カントウイ賞頭衣カントウイって簡単で着やすいヨ！」

一支国王都公園に集まった子どもたち

(3月14日) 一支国博物館開館記念日

平成 22 年 3 月定例会で

こんなことを決めました。

3月定例会の概要

平成22年3月定例会は、3月5日～3月23日までの19日間の日程で行われた。今議会には、平成22年度の新年度予算など49件の議案が上程され、本会議2日目には一般廃棄物最終処分場（本体）建設工事請負契約の締結など2件の追加議案が提出された。

市長の施政方針のあと、各議案についての説明を受け、各議案を常任委員会に付託し、慎重に議案審査を行った。

また最終日には教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任や、議員発議による意見書の採択など9件の追加議案と、継続審査としていた請願など、委員会審査報告等をふまえ、全議案について可決した。

条例

◆嘱託職員の給与・勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定

嘱託職員の任用及び人事管理の適正な運営を図るため、給与・勤務時間その他の勤務条件に関する事項を定めるための条例制定

◆地域福祉活動拠点施設条例の制定

郷ノ浦町デイサービスセンター、勝本町ふれあいセンター「かざはや」、芦辺町クオリティライフセンター「つばさ」、石田町総合福祉センターの運営を一本化し、使用料金についても統一するための条例制定

◆ペット霊園条例の制定

自主営業によるペット霊園の設置及び管理が適正に行われるための措置を講じ、公衆衛生上住民に与える不安を除去し、生活環境への配慮と地域住民とのトラブルを回避するための条例制定

◆農業機械銀行条例の一部改正

中型ホイールローダー（60分当り）バケット容量で小型と中型に区分し、3,720円と4,500円に料金を改正。またダンプ使用料金（60分当り）を2tダンプは現行通り3,720円、新たに4tダンプを4,500円とする条例改正

◆堆肥センター条例の制定

郷ノ浦町堆肥センターの竣工に伴い、苓岐市石田町堆肥センター条例を廃止し、苓岐市堆肥センター条例として、郷ノ浦町及び石田町堆肥センターを集約するもの。これにより利用料金を一律とした。

◆死亡獣畜取扱場条例の一部改正

へい死獣畜一時保管処理施設の建設に伴い、条項を追加したもの。業務はJ A苓岐市に委託予定。

追加議案

(3月5日)

◆一般廃棄物最終処分場（本体）建設工事請負契約の締結

2億8,875万円

不動テトラ・なかはら特定建設工事共同企業体落札



この処分場では不燃残渣（粗大ごみ、不燃ごみを分別・破碎し、選別後に残るガラス・陶器・プラスチック類）を埋めます。



(単位：千円、△はマイナス)

平成22年度壱岐市の予算(特別会計含む)

324億3,840万9千円

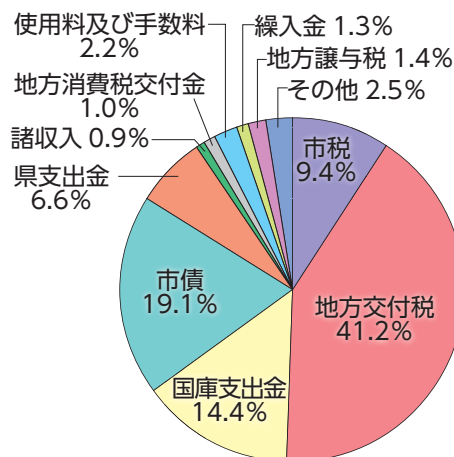
会 計 名	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増 減 額
※一般会計	22,755,000	23,641,000	△886,000
国民健康保険事業特別会計	4,576,745	4,601,083	△24,338
老人保健特別会計	1,400	13,253	△11,853
後期高齢者医療事業特別会計	312,668	302,620	10,048
介護保険事業特別会計	2,810,290	2,755,448	54,842
簡易水道事業特別会計	911,207	1,059,974	△148,767
下水道事業特別会計	337,395	384,883	△47,488
特別養護老人ホーム事業特別会計	504,153	457,980	46,173
三島航路事業特別会計	119,862	121,862	△2,000
農業機械銀行特別会計	109,689	111,142	△1,453
計	32,438,409	33,449,245	△1,010,836

※一般会計のなかみ

歳入

市税等の徴収対策の強化等で、自主財源を確保するとともに、国の経済対策により措置される財源等を最大限に活用し、地域経済の活性化につながる施策を積極的に推進します。

(単位：千円、△はマイナス)

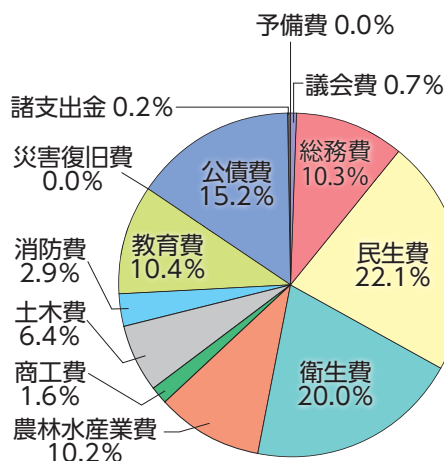


	22年度 予算額 (A)	21年度 予算額 (B)	増減額 A - B = C	増減率% C / B × 100
市税	2,128,381	2,193,424	△65,043	△3.0
地方交付税	9,379,411	9,285,567	93,844	1.0
国庫支出金	3,280,380	2,933,035	347,345	11.8
市債	4,343,800	4,961,100	△617,300	△12.4
県支出金	1,507,354	2,025,485	△518,131	△25.6
諸収入	195,430	160,291	35,139	21.9
地方消費税交付金	225,000	264,000	△39,000	△14.8
使用料及び手数料	497,969	488,171	9,798	2.0
繰入金	286,191	267,701	18,490	6.9
地方譲与税	310,200	357,200	△47,000	△13.2
その他	600,884	705,026	△104,142	△14.8
歳入合計	22,755,000	23,641,000	△886,000	△3.7

歳出

前年度に引き続き歳出の抑制を図りつつ、行財政運営の効率化と経費の合理化がなされるよう注視し、国の緊急雇用対策事業等の実施による経済効果を図ります。

(単位：千円、△はマイナス)



	22年度 予算額 (A)	21年度 予算額 (B)	増減額 A - B = C	増減率% C / B × 100
議会費	156,753	168,926	△12,173	△7.2
総務費	2,343,141	2,440,740	△97,599	△4.0
民生費	5,031,788	4,439,625	592,163	13.3
衛生費	4,552,518	4,441,997	110,521	2.5
農林水産業費	2,322,904	3,091,874	△768,970	△24.9
商工費	376,019	356,346	19,673	5.5
土木費	1,446,857	1,664,998	△218,141	△13.1
消防費	651,389	682,770	△31,381	△4.6
教育費	2,371,023	2,838,350	△467,327	△16.5
災害復旧費	3,374	3,566	△192	△5.4
公債費	3,455,232	3,466,706	△11,474	△0.3
諸支出金	40,002	41,102	△1,100	△2.7
予備費	4,000	4,000	0	0.0
歳出合計	22,755,000	23,641,000	△886,000	△3.7

「平成22年度は どえーな予算がある？」



こども手当給付事業

5億9,800万円

国の政策により、中学校修了までの子ども1人当たり月額13,000円を支給するもの。(次年度からは1人あたり月額26,000円)

対象者数は市内約4,600人となる。

(国費5億3,356万円、市費6,444万円)



元気に大きくなりま〜す！(石田保育所きりん組のみんな)

島外通勤・通学者交通費助成事業

700万円

市民の島外への通勤や通学を支援し、定住人口の減少に歯止めをかける。週単位の通勤者(月2往復以上)に年額20万円、毎日通勤・通学者に年額50万円を限度に交通費を助成する。



就職・進学のため壱岐を離れ出港

一支国博物館管理費

5,000万円

一支国博物館の指定管理委託料。

(県費：2,500万円、市費：2,500万円)



3月14日オープンした一支国博物館

しまごとプロジェクト推進事業

3,973万円

一支国博物館を拠点とした事業費

しまごと大学事業、しまごと博物館・しまごと元気館事業、しまごと情報発信業務などの企画事業費

(県費：1,983万円、市費：1,990万円)



一支国博物館エントランスホール

「開運！ なんでも鑑定団」 in 壱岐 200万円

壱岐の魅力を発信するためテレビ放送等を活用し、交流人口の拡大につなげるため「開運！ なんでも鑑定団」出張鑑定 in 壱岐を招致する。



収録は10月。皆さんのお宝を出品してください

橋梁長寿命化事業

2,046万円

国の補助による新規事業で、架橋 40 年以上が経過している郷ノ浦町中央橋の災害防除のための補修工事を実施。



補修を急がれる中央橋

水域環境保全創造事業

1,450万円

水産業の振興を図るため、県交付金等による海藻類の消滅による「磯焼け」対策のための藻場造成事業で、本年度は石田町漁協管内の藻場礁を設置。



藻場増殖礁のネットの中で繁茂する海藻

市・県消防ポンプ操法大会費

1,237万円

今年度は消防ポンプ操法大会が行われます。消防団員の日頃の訓練成果を発表する場で、地区大会、市大会、県大会での活躍が期待されます。



前回（平成20年）の市操法大会の様子

追加議案

・人事案件

教育委員会委員の任命

郷ノ浦町 田原和雄 氏

固定資産評価審査委員会委員の選任

石田町 喜多丈美 氏

郷ノ浦町 草野正純 氏

勝本町 小畑英治 氏

芦辺町 占部利夫 氏

・平成21年度一般会計補正予算

1,000万円追加

国の施策の、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業費に追加措置があり、市道排水路整備工事（3カ所）をする。

学校給食施設整備事業

4億7,530万円

学校給食センター建築工事費

給食の配送が時間的に困難な三島地区に建設する、原島給食センター（木造平屋建）等を含む。



給食センター建設予定地（勝本町）

きびくちエック!

委員会レポート



ユウくん
☆各常任委員会に付託された
議案の主な審査状況を報告します。

総務文教常任委員会

委員長 町田 光浩

○「**彦根市嘱託職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定について**」

嘱託職員の処遇については、かねてより本委員会においても問題の指摘がなされていた事案であり、このたび条例整備を行うことは評価できる。

しかし、条例の内容及び現在との処遇の相違点等について当該職員に対する周知説明が不十分であり、一部混乱を招いている。

当該職員にとっては、各人の生活に直結する問題であり、充分に配慮すべきと考える。

また今後、規則の整備も併せて各課の状況を充分に把握した上で運用されるよう、意見を付すものである。

厚生常任委員会

委員長 町田 正一

○**国民健康保険事業**

本年5月にも所得が確定しだい、国民健康保険料を8%程度値上げが検討されている。

医療費負担の増大と、不況による税収の落ち込みが原因で、基金の取り崩しをもってしても対応が困難になってきている。

一方で、累積する未収金額が3億3千万円に上り、この対応がなされなければ市民の理解は得られない。早急に具体策を求めている。

○**ペット霊園条例**

地域住民の同意を条件として可決した。

○**特別養護老人ホーム建てかえ**

期限がせまっていることから、一部地元公民館に反対があるのであれば全島的に候補地を見つけれたい。

産業建設常任委員会

委員長 鵜瀬 和博

○**平成22年度下水道事業特別会計予算**

この事業は、生活排水の適正な処理と快適な生活環境を整備するために重要だが、多額の建設・管理費が必要となるため今後もさらに加入促進に向け努

力されたい。

○**平成21年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)**

長年の懸案事項である郷ノ浦町亀川地区の雨水排水対策は、早急に県とも十分協議の上、将来を見据え、抜本的な解消を望む。

○**平成21年度農業機械銀行特別会計補正予算(第3号)**

緊急雇用対策であった高枝伐採作業は、雇用者数のべ2千793名、うち新規2千204名で42路線を実施。今後とも国・県の事業を大いに活用されたい。



機械銀行の高枝伐採作業で道路が明るくなりました

請願

○定置漁業の生産力維持、雇用対策、地域活性化に関する請願

請願者：箱崎漁業協同組合

代表理事組合長 西 寛

要 旨：定置漁業の経営譲受に依る経営存続と、地域活性化対策・漁業振興対策に対する助成を要望する請願

近年の水産資源の減少や魚価の低迷等により、定置網業を営む経営団定置（箱崎漁業経営団）が解散するに当たり、箱崎漁業協同組合が従業員や漁網等の一切の施設を引き継ぎ、定置網業を継続される。地域漁業の振興、地域活性化、雇用の確保の主旨に大いに賛同するものであり、また、現在、水産業を取り巻く環境は、資源、漁獲量の減少、魚価の低迷、燃油高騰、漁業者の高齢化、後継者不足など依然として大変厳しいことと今回のような事例は、県下でも初めてであり、該当する補助メニューが見当たらないことを考慮すれば今回限りの緊急的対応が必要と判断した。箱崎漁協におかれましては経営改善を図られ、事業の発展を願うものである。市が助成する際は、経営内容等十分精査された上で、助成の根拠を説明できるよう、適正に執行されることを付し、請願書を採択し市長に送付した。

議員発議

意見書

○「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の※NP T

再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

要 旨：国に対し、被爆国政府としての核兵器廃絶の取り組みをさらに確実なものとするため、核保有国をはじめ、各国政府への働きかけを要請する。

・送付先 内閣総理大臣
外関係機関

○永住外国人への地方

参政権付与の法制化に反対する意見書

要 旨：永住外国人が、憲法に基づく参政権を取得するためには、国籍法に定める帰化

によるべきものである

り、永住外国人への地方参政権付与に関する法律を制定することのないよう要望する。

・送付先 内閣総理大臣、副総理、国家戦略担当大臣外関係機関

○離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書

要 旨：離島における住民の生活の安定と産業振興を図り、本土との生活格差是正のため離島の燃油にかかる免税措置の法制化を求める。

・送付先 内閣総理大臣
外関係機関

※核不拡散条約（核兵器拡散の防止を目的とし、核兵器保有国の核兵器委譲の禁止、非保有国の製造等の禁止、原子力の平和利用のための国際原子力機関による査察等が規定される条約。）

臨時議会の報告

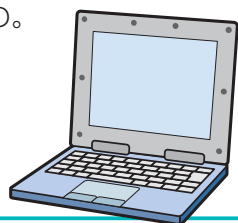
◆平成22年第1回臨時会

（平成22年1月19日開催）

教職員用コンピュータ購入事業契約の締結

3,228万円

市内各小学校幼稚園の教職員用のノート型パソコンを計228台購入するもの。



◆平成22年第2回臨時会（平成22年2月17日開催）

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

3億6,887万円

地域活性化・きめ細かな臨時交付金の事業内訳（単位：千円）

観光施設補修・改修	9,300
庁舎補修	4,250
社会福祉施設改修	11,500
農業施設補修・改修	39,191
漁港・港湾施設補修・改修	9,859
市道舗装補修	37,992
市道等排水整備	37,700
橋梁補修	5,000
河川補修	12,000
校舎等改修	107,762
社会教育施設補修	18,858
簡易水道施設改修	15,460
下水道雨水渠改修	60,000
計	368,872

政府の『明日の安心と成長のための緊急経済対策』により、地方公共団体きめ細かなインフラ整備等を支援する臨時交付金事業として、壱岐市では3億6,887万円の予算が計上され、主に学校施設の改修や道路補修など（事業内訳参照）を行う。

一支国博物館公用車購入

437万円

一支国博物館～原の辻遺跡公園移動用の公用車1台を購入

中村出征雄 議員



Q 嘱託職員の格差大

4月より採用される嘱託職員は第2種嘱託職員となり、医師・獣医師等特別職は第1種嘱託職員、現在の雇用条件は平成30年度までは経過措置で現

行のままで、以降は第2種となり採用時と条件が異なり将来に不安を抱いている。

第2種嘱託職員は期末

手当もなく、月額報酬で

正職員との格差大である。

①正職員定数690人、実人

員590人、平成23年度末に

は定数の見直しだが、正

職員を減らし嘱託を増や

すのか、双方を減らすの

か。

②1種と2種の違いは報

酬だけか。

③退職金は

昨年廃止さ

れたが、100

%出資の外

郭団体には

支給されて

おり不公平

ではないの

か。

④し尿及び

ごみ焼却場

と給食セン

ター建設で

施設は集約

スタッフ一同で、“かわいい命”をお預かりしています

されるが、余剰人員の対応はどの様に考えているのか。

A まずは条例化を

市長

①嘱託職員は週29時間が

正規な契約、38時間45分

までは超過勤務で対応す

る。民間等で出来る業務

は島内の民間に、分庁方

式を効果的に考え、職員

は減少の方向に。

②報酬だけ。

③外郭団体(学校用務給

食会、環境管理組合)は

市の別組織であり、特殊

な事情により今後の課題

である。

④ごみ処理施設は、現在

市内4施設有り、完成後

の施設管理・収集業務は、

市の環境管理組合で対応。

民営委託を廃止するため、

余剰人員は出ない。

給食センターの人員は、

自然減、学校用務員等の

配置を考えている。

町田 正一 議員



Q 病院改革について

改革の目的は、経営形態をどうするかということではなく、市民の医療ニーズにどう応えていくかという点が大切である。

①その後の状況に変化は

あったのか。

②九大第二外科との関係

修復が最も大事な点であ

ったのか。

③九大第二外科との関係

修復が最も大事な点であ

ったのか。

④九大第二外科との関係

修復が最も大事な点であ

ったのか。

⑤九大第二外科との関係

修復が最も大事な点であ

特別養護老人ホーム「寿楽園」

が重要。第二外科からは「石を持って追われた我々が市民病院に行くことは、関係者の物笑いになる」とまで言われた。報道・行政・議会の対応のまずさ

るが、何故、老岐市民病院に医師を派遣していただけなのか。

A 市民の身近な病院へ

市長

①理事長候補に九大病院

の久保院長に推薦をお願いしている。九大・福

大・久留米大とは、関係

強化と医師派遣の継続を

約束している。

②九大から現在3名の医

師を派遣していた

だいているが、第二

外科との関係修復

が重要。第二外科か

らは「石を持って追

われた我々が市民

病院に行くことは、

関係者の物笑いに

なる」とまで言われ

た。報道・行政・議

会の対応のまずさ

があった事が事実である。

Q 特養ホームについて

①市長も民間施設の勤務経験があり、やはり特養の入所者の処遇を第一に考えれば、30〜40床の小規模な施設を地元に近い場所に建設するのが望ましい。

②新知事も誕生したし、もう一度、県当局に増床を訴えるべき。

A 100床施設の建てかえ

市長

①今回の100床施設は建てかえなので、分散はできない。

②増床は県当局に強く交渉する。

呼子 好議員



Q 肉用牛の振興

吉岐牛の販売額は、19年38.8億円、21年は約30.2億円と、8.6億の落ち込みで厳しくも、吉岐の経済に非常に貢献している。

約30億円の外貨導入、土作り、耕作放棄地解消、島の景観保持、交流人口の拡大等、経済効果は大



「若いもんじゃ負けんつもりばってなあ…」 4月9日牛市

さいが、事業予算は大幅削減となっている。支援策はあるのか。

①増頭に向けた高齢者、後継者対策は。

②部会、ヘルパー組織への支援策は。

③へい死獣畜の運営と農家負担金について。

④堆肥センターの運営と使用料金について。

A 基幹作物と認識

市長

経済効果は認識している。肉用牛が農畜産物の算出額6割を占める基幹作物である。

①国県の補助事業を活用し、市も支援する。

②部会、ヘルパー組織への補助金はゼロ、自立が必要。

③一時冷凍保管施設を整備、運営は農協へ委託予定、使用料金は協議中。

④市が運営する。郷

ノ浦・勝本・石田の一部約千頭分収集予定。使用料金は石田町を参考に設定。

Q 観光と地産地消

吉岐は、山の幸・海の幸の宝庫である。観光客は、吉岐の自然・文化・グルメを求めている。

①吉岐にグルメの専門店を支援を。

②市広報誌のヘルスメイトさんのクッキングレシピは、健康食である。冊子にしてはどうか。

A 食を活かした観光

地づくり

市長

①県の食材を積極的に使用している地産地消品こだわりの店に、吉岐から5店舗が認定を受けている。吉岐独自の認定を勉強する。

②ヘルスメイトさんの、健康食のレシピ作品は相談する。

田原 輝男 議員



Q ナイター設備を

大谷ゲートボール場について、現在数多くの大会が行われています。

来年は全国離島ゲートボール大会が開催される予定であり、さらには韓国・対馬との交流試合も計画されております。

夜でもゲートボールが出来るように、照明を付



大谷ゲートボール場(柳田地区老人会の練習)

けてはどうか。

A 現状維持で

市長

夜間照明を整備すれば、より良い施設になるのは間違いないが、当該地は4分の3が借地であり、整備費用の面からも当面は現状維持で。

北側の全天候型ゲートボール場には夜間照明があるので、そちらの活用をお願いしたい。

Q 地元業者への発注を

吉岐市ケーブルテレビ整備事業は、総事業費46億円を超える大型事業である。

①JV(共同企業体)方式が望ましいが、島内業者の工事への参加はあるのか。

②4月入札、7月工事着工という事であるが、自治・公民館単位の説明会は十分出来ているか。

③基地局はどこに設置と考えているか。

④整備後のアフターケアはどうするのか。

A 地元業者にも協力を

市長

①センター設備工事、光ケーブル電送路工事については、国の補助機関、専門的な技術が必要なことから、JVや分割方式は無理。地元業者には、保守面やセンター施設等建築工事の発注を計画。

②2月から各公民館単位の説明を始めている。

③まだ決定していない。市有地で電波の問題をクリアできる場所に決める。

④アフターケアについては、指定管理者となる団体に委託予定。

Q 郷ノ浦港の駐車場

市の対応策はどの様に考えているのか。

A 状況を調査中

市長

郷ノ浦港駐車場の使用状況を調査しており、その後判断する。

『市長は、議会最終日に郷ノ浦港駐車場の有料化は考えていない事を表明した』

鵜瀬 和博 議員



Q 見直せ、定住促進策

①島外通勤・通学者交通費助成の見込みと今後の計画は。
②現在の市定住促進支援対象はI・Uターンのみ。旧芦辺町の定住促進条例のように対象者をUターン者も含めた吉岐出身者に拡大し、支援内容を充実すべき。



4月の課長会(課長会は月1回、理事会は毎週開催される)

③地域情報通信基盤整備通信推進事業により現誘致した企業の状況と今後の見込みは。
新卒者の島内就職は厳しい。農漁業のように新規就業者として新卒就職助成金創設は。

A 対象者拡大充実を

市長

①週通勤は30名の60万、毎日通勤2名の100万、計700万円。
②今年度中にI・Uターンのだけでなく、島内未就労者対策と併せて総合的な定住促進策として住居対策も含め検討する。

③現企業とは調整を図って行くとともに、今後も企業誘致に向け、努力する。また、新卒者の就職支援は、ハローワークと連携しながら国の事業を活用し、市単独は考えていない。

Q 智慧を活かした広報戦略

①一支国博物館等開館までの島内外宣伝等万全か。取材後の放送・掲載日等周知すべき。
②今後の戦略的広報宣伝は。

③地域間競争が激しさを増し、厳しい財政の中で、智慧を活かしたソフトの時代。市08プロジェクトチームの活用は。

A 指導力を発揮する

市長

①内覧会、市報で特集を組み、官民一体となった情報発信に取り組んできた。放送日等の周知には怠りがあり、反省している。

②観光協会を中心に官民連携しながら、島内の意識醸成、東京、大阪圏へさらなる効果的な広報宣伝に努める。

③今後は理事会、課長会等活用し、指導力を発揮し積極的に取り組む。

中田 恭一 議員



Q 中学校跡地有効利用

中学校統廃合跡地利用について、準備委員会の中で具体的な意見があるのか。

鯨伏中学校跡を青少年

A 地元の意見を

市長

基本的には地元の意見を聞きながら慎重に協議していく。

民間への売却や青少年

の合宿施設として利用できないか。サンドームやB&Gのプール等も利用できる。

各施設の統廃合による遊休市有地の処分も早急に。

Q 行方不明者の捜索は

行方不明者が増えていく中、捜索に警察犬の導入など応援態勢が取れないのか。

A 経費が高く難しい

市長

現在は民間への依頼をしなければいけない状況で、経費が高くなり難しい。

Q エコに補助を

太陽光発電施設への市独自の補助を。

太陽光発電の初期施設投資が高額で、取り組みにくい。

A 他市の状況を知る

市長

国県や、県内5市の状況を見ながら検討していく。



自家用の太陽光発電

今西 菊乃 議員



Q 障害者支援を

①知的障害者通所授産施設の利用者が増えている。また今後の利用希望者も数名いる。増設の必要がある。

②介護をする人のほとんどが、親亡き後の心配。緊急時等の一時預け(ショートステイ)を望んでいる。



いろんな物を作ります。(障害者通所授産施設での作業)

A 計画的に推進する

市長

①障害者自立支援法を見極めながら今後、必要な施設を計画的に推進し、安全安心で生活できる環境を推進する。

②就労の場を含め、長期的、総合的な整備が必要。

Q イベントの周知を

各部署・団体で行われているイベントや大会等の重複をさけるためにも市民へ周知できる体制を。

A 将来はケーブルテレビでも

市長

現在、広報誌、ホームページにて掲載周知しているが、光ケーブルにより市独自のテレビ局を設置し、ケーブルテレビを活用したい。今後、極力周知できる体制、方法を研究する。

Q 社会教育と生涯学習

学習

人口の減少に伴い、自治公民館を軸とした社会教育が出来にくくなっている。今後、13の地区公民館による生涯学習を主とした事業を行うのか。

世代間交流にどのような取り組みなのか。今後の社会教育のあり方。

A 社会教育への情熱は変わらない

教育長

基本的には、公的公民館を主とした生涯学習を展開していきたい。また、婦人会、PTA、青年団の現状が一番危機的状況と認識しており、社会教育団体の組織の強化を今年度、社会教育委員会での大きな話題にしていこう。そのため社会教育委員会の存在が非常に大きな時期に来ており、今後、会のあり方、運営等改善し、活用していきたい。

大久保洪昭 議員



Q 漁業後継者対策を

全国的に漁業は従事者の高齢化、後継者不足である。現在はもちろん、将来に向けても漁業の振興に繋がるのは後継者の確保

保である。後継者なくして漁業の活性、将来はあり得ない。

他の地域においては後継者の激減により、漁協解散も報告されている。

今後、沓岐市独自の漁業後継者対策に重点を置き、漁業の活性化に取り組むべき。

A 次年度に実施

市長

後継者の確保が最も重要である。

現在担当課に検討をさせている。23年度には実施する予定。

Q 認定漁業者制度創設

この制度を設けると言われてから2年が経過するが、制度創設をいつ頃と考えているか。

A 最終段階

市長

検討もほぼ最終段階に達しており、漁協長会等と調整をし、本年度には公表出来る。22年度に認定、23年度から運用をし後継者対策支援を図る。

Q 水産業基本計画検証

この計画は、平成23年が前期の5年目となるが、後期5年目に向けての検証はいかに。

A 23年度に見直し

市長

社会情勢の悪化に柔軟に対応するため、23年度に見直しを行う予定。



マグロ漁の準備(勝本漁港にて)

豊坂 敏文 議員



補助金一律カット

各種団体の補助金等が全部削除している。

振興計画は、組織の育成強化を図り経営支援をなすとしているが、整合性無し。政策評価も充分でない。メリハリ予算の計上をすべき。

A 真に必要な補助金

市長

補助金等検討委員会において、次のように提言を受けている。

- ・算出根拠が不明確
- ・同種団体への一律定額補助を行っている
- ・自己負担の割合が少ない
- ・繰越金が多額
- ・繰越金が多額などの見直しである。

Q へい死獣畜処理施設

全活用策奨励

今後、死亡家畜は産業廃棄物となり、従来の共同埋葬施設での処理ができな

永久的でない。奨励策を。

A 指定管理者制導入

市長

施設の維持・利用料については、彦根市農協・和牛部会・肥育部会において協議・決定される。

Q 嘱託職員の雇用対策

給与等の格差は正励行なし。

- ①嘱託職員条例の平成30年度までの経過措置は何が基準か。
- ②嘱託職員への説明は。
- ③看護師と保健師の報酬の違いは。

A 交付税減額で嘱託職員待遇を見直し

市長

- ①平成30年は合併して15年となる。交付税が今より約20億円減ると予想されるため。
- ②3月8日には担当理事から該当者に伝えている。
- ③行政職と医療職。

久保田恒憲 議員



Q 観光振興の取り組み

観光振興の取り組みの中で、主に博物館と原の辻を活かした観光客の誘致について、博物館の開館等、地域住民の中には盛り上がりが見えない現状に不安と不満の声がある。

A 市民の英知を結集

市長

この機を捉え島民一丸となった取り組みに活かせる「いきいき観光サポーター」制度の進捗状況と今後の課題を問う。

観光サポーターの登録が少ないことについては反省すべき点がある。関係団体と協議して普及に努める。

観光客誘客については、職員の取り組みも不十分であるとの指摘であるが、評価すべきと

A 新年度に反映

市長

住民の意見を募集の中で「無駄遣いについて」とタイトルを絞った取り組みをして効果的に意見の集約、登用できるように努めたい。

ストップ本部委員の編成については、現行は市の理事等が9人、民間委員が4名であり公募を行った結果であるが、今後検討して、新年度の委員構成に反映をしていく。

Q 無駄遣い

ストップ

本部の現状



観光サポーター研修の様子

市山 和幸 議員



Q 介護難民を出さない対策を急げ

特別養護老人ホームの増床や地域密着型の小規模多機能型生活介護施設の整備を急ぐべき。

A 今後の課題

市長
県の基準では平成25年



綺麗に身体ふき(特養ホーム)

まで公立100名、民間60名であり増やすことができない。今回の特養ホームの整備は、100床+ショートステイ20床を基準にしている。今後は老岐の特殊事情もあるので、定員の増加を県に要望していく。

Q 雇用対策の拡充を

①本市の活性化のための雇用対策の拡充を図るため、国の交付金を活用した事業での雇用は、短期的には効果的と思うが、将来的には非常に不安定である。輸送コストの少ないIT関連業種の企業誘致を推進すべき。

A 積極的に企業誘致

市長
①IT関連業種

は離島にとってはマイナスを感じさせない業種である。

今後、高速インターネットサービスを整備するので、積極的に誘致活動を展開していく。

Q 悪質商法から市民を守って

訪問販売や電話勧誘による不当な契約から市民生活を守るため、クーリングオフ制度の周知徹底と、消費者相談室を市庁舎内に設置すべき。

A 相談員を配置

市長
今後チラシの配布や、広報誌に掲載し各戸に周知する。消費者相談については、専属の相談員を配置するとともに専用の部屋を準備する。

研修報告

広報特別委員会

委員長 音嶋 正吾

日程 平成22年2月4日～5日

場所 長崎市

- ・長崎新聞社
- ・正文社印刷所

長崎新聞社では、読者ふれあい

室長により、新聞発行までのパソコン処理について実践作業を視察した後、前もって送付していた「老岐市議会だより」について、読者ふれあい室長に講評をいただく形で、編集方法を学習した。

市民にわかりやすく、口語体(話し言葉)で書くという事を強く指導されたが、他の市町村広報誌等と比較し、企画・レイアウト・写真等の出来映えには高い評価をいただいた。



パソコンを使った新聞作りの実践を視察(長崎新聞社)

正文社印刷所では、議会だよりができるまでの行程を見学し、編集技術・印刷技術の進歩を確認すると共に編集・校正の難しさを実感しながら、「市民にわかりやすい広報」「手にとって読んでもらう広報」をめざすための秘策・改善点について研修をした。

今回学んだ研修成果を今後の編集に活かし、市民によりわかりやすく、読みやすい議会だよりとなるよう努力を続けたい。



市民の声

議会だよりクイズの応募の中で、お寄せいただいたご意見や感想をご紹介しますコーナーです。

おふねのお金をねさげしてください。(8歳)



原の辻ガイダンス (旧原の辻展示館) 前

中学校統廃合が、各生徒に公平になるよう願っています。(62歳)

一支国博物館をもう少し市民向けに宣伝して、まず壱岐の人の理解が大切。(49歳)



郷ノ浦幼稚園入り口

博物館ばかりに力を入れず、壱岐全体の観光地を大事にしてほしい。(40歳)

市民病院改革を、関心と期待をもって見守りたい。(73歳)



郷ノ浦町 刈田院橋よこ

「地元で出来る事は地元企業を優先する」に共感。雇用対策を！(55歳)

議会だよりは、脳の活性化につながっています。(49歳)



沼津中学校前バス停付近の畑

救急車もこれないので「嫦娥大橋」をお願いします。
(32歳)

議会だよりは知らなかった情報がわかってとてもいい。
(13歳)

千円高速と
いうのがあるなら、島民は千円で船に乗りたい。
(55歳)



第5回

議会だよりクイズ



正解だよ

第4回クイズの答え

① 3月14日 ② 2回目 ③ 288人
応募総数49名の内、全問正解者は47人です。



おめでとう
パチパチ

～ 第4回クイズの当選者 ～

西口富美子様 平川恵美様
福田富士子様 坂本 梢様
松尾 恵子様 (順不同)

☆おめでとうございます☆



石田保育所の
おともだち

ハガキ
送ってね

クイズに答えて

図書カード(1,000円)
が当たるんだよ！
応募待つてまーしゅ☆

クイズ ○○の中に当てはまる言葉や数字を入れてください。

- その①** 平成22年度壱岐市の総予算は、○○○億3,840万円。
- その②** 国の政策の“子ども手当”は○○○修了まで支給されます。
- その③** 一支国博物館が今年オープンしたことを契機として、壱岐市は今年を「○○元年」と位置づけ、様々な計画をしています。



ヒント

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、議会へのご意見等もお書き添えください。

ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード 1,000 円分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒 811-5521 壱岐市勝本町西戸舳 182-5
壱岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成 22 年 5 月 31 日 (当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。



一支国博物館「魏志倭人伝の世界」
きしわじんてん

編集後記

3月14日 壱岐市立一支国博物館、長崎県埋蔵文化財センターが開館しました。

オープン当日は、県知事をはじめ多くの関係者、市民の方々に溢れ、大変賑やかでした。

さて、本市では、この博物館開館を契機として今年を「観光元年」と位置づけ、交流人口拡大に向け様々な計画をしております。そのためには市民皆さんの支援、協力が必要不可欠です。どうぞ、皆さん一緒に壱岐を盛り上げていきましょう。

最後に議会だよりクイズも好評で多くの応募があり、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。編集委員会一同市民に親しまれ、わかりやすい議会だよりを目指していきたいと思います。

(鵜瀬和博)



議会広報特別委員会

委員長 音嶋正吾

副委員長 榊原伸

委員 中田恭一

委員 鵜瀬和博

委員 町田正一

委員 呼子好

○編集 議会広報特別委員会

〒 811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触 182-5

TEL : 0920-42-1111

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 http://www.city.iki.nagasaki.jp

お知らせ

壱岐市ホームページ

(<http://www.city.iki.nagasaki.jp>) の市議会のインデックス（見出し）を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁（総務課）・各庁舎（市民生活班）・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。